

忠実

アシェル・イントレーター

2013年11月22日

人生はよく「旅」や「競争」に喩えられます。ゴールについた時にこの言葉が聞けることを期待しています。

マタイ 25:21--よくやった。良い忠実なしもべだ。あなたは、わずかな物に忠実だったから、私はあなたにたくさんの物を任せよう。主人の喜びをともに喜んでくれ。

神さまはイエシュア（イエスさま）を通して恵みを与えられます。実際には、全てを与えてくださっています。私たちがすべきことは一つだけで、彼を信じ、信頼することだけなのです。彼がずっと私たちに対して忠実であったので、私たちもイエシュアに信仰をおくことができるのです（聖書ヘブライ語では「信仰」=「*emunah*」は元来「忠実さ」を意味しています）。

第2テモテ 2:13--私たちは真実でなくても、彼は常に真実である。彼にはご自身を否むことができないからである。

忠実さが神が本来備えておられる性格であるため、私たちは彼がそうであるように忠実でいたい、また周りの人々に対して忠実であることによって、主に対し忠実でありたいと思います。

父祖（アブラハム、イサク、ヤコブ）たちや預言者たちの人生において、神はときに、とても長いあいだ、彼らの人生の約束が、外見的には何も実現する兆しも見えない、そういった時期を通ることを許されます。ただ忠実であるべき期間。ひょっとすると神は彼らを試されていたのでしょうか。それとも忠実さを習得するためには、外的な祝福なしに耐え忍ぶ一定の期間が必要なのかも知れません。

では、私たちはどのくらいの期間忠実であるべきなのでしょう。--永遠にです。

黙示録 2:10--死に至るまで忠実でありなさい。そうすれば、わたしはあなたにいのちの冠を与えよう。

どのように良い人間関係においてでも、何もうまく行かないと感じる時があります。あなたの個人的な見解においては、続けてやっていく意味がまったくないので、この関係において忠実であり続けるかどうか決断しなければならないと、思うでしょう。しかし、考えてみてください。「忠実である」ということのため、忠実であり続ける必要があります。これが真実なのです。

イエシュアは、何もうまく行っていないその時に、御自身を捧げられました。彼は私たちに對し、忠実だったのです。誰もが彼に對し、忠実さで答えてくれる可能性がゼロであったのに、その心臓にまで槍が突き刺され、失血し、死にました。

ローマ 15:8 –メシアは、神の真理を現わすために、割礼のある者のしもべとなりました。それは父祖たちに与えられた約束を保証するためであり、

「選ばれた民」となるため必要とされる皮肉な要素は、私たちの犯した膨大な罪が、聖書に記され、世界中に示されているということです。何世紀にも渡る私たちの失敗、罪や裏切り行為にも関わらず、神さまは、今までそうであったように、現在もイスラエルに對し忠実であってくださいます。イエシュアはユダヤ人で、アブラハムやダビデの子孫です。このことは、神さまは約束されたことに對し忠実であるということの証しです。主がわが民族に對し忠実であったのであれば、全ての人に忠実であるのです。忠実さで答えていきましょう。

潘事務総長アウシュヴィッツを訪問

イエディオット・アフロノット

国連事務総長パンギムンは先週、ラビ、イスラエル・ラウとともにアウシュヴィッツ絶滅収容所を訪れた。展示品のうち、何百万人にもものぼる大量虐殺被害者の「名簿」に目を止めました。潘は「このことが二度と起こらないと、声を大にして宣言する」と記念碑に花輪を掛ける前に述べた。

ホロコーストで何が起こったかということが国連を通して広まるように祈っていきましょう。

ネティヴォットのラビたち

ロニ・レジュワン、コーディ・アーチャー

先々週イスラエル南部のネティヴォット市で、当地の有名なラビ、ヨラム・アベルジェルを拘留するという裁判所の決定を受け、何十人かの住民が、タイヤを燃やし市街への入口を塞

ぎました。彼は、最近行なわれた市議会選挙に関連し、恐喝罪の嫌疑を受けています。ラビ・アベルジェルは2,000人もの信者を持つカバラ（神秘）思想家として知られ、3,500万シェケルの純資産を持っていると見られています。

また、アベルジェルがラビ・ヤアコヴ・アイベルガン一家を、マフィア組織のドムラニに恐喝させた疑惑もあります。アイベルガンはカバラ派ラビの一人で、癒したり人の内側を見ることができると言われている「X線」パワーで知られています。アイベルガンは別の市長候補者を支持していました。

アベルジェルは現職の市長に投票することによって、罪の赦しと経済的な祝福が与えられると公言していたとされています。アベルジェルの逮捕の後、何百人もの信者がラビ・アイベルガンの家の前に、「彼の魔術はこの街では歓迎されない」と書かれたプラカードを手に集まりました。

正義が為されるように、また汚職や間違った教えが明白となるよう祈っていきましょう。

福島からフィリピンの被災地タルコバンへ

アリエル・ブルメンソール

多くの方が私たちの兄弟であり、2011年3月から日本での忠実なパートナーである「イカピー」を憶えておられると思います。彼とその家族、そしてグローバル・ミッション・センターの信者たちは、言い尽くせない程の破壊と犠牲者を出した、地震、津波、放射能の恐怖（現在まで引続きある）による3重の悲劇の中を耐え抜きました。主についての大きい証しが、そこで建て上げられたのです。先週の初め、彼から「今フィリピンにいます、タルコバンに向かう道中です。福島でやったように、そこで救援、救済、アウトリーチのためのセンターを設立します。」とEメールを受取りました。彼は、フィリピンにいる韓国系アメリカ人宣教師である私の友人、ケビンとともに作業にあたっています。彼らは私たちの祈りと援助を必要としています。また、フィリピンで特別な基金を設立しているところです。もし義援金を送るよう主に示された方がおられましたら、penoli101@gmail.com、ビルにご連絡ください。

[先週の記事を訂正し、お詫び申し上げます。アブドゥッラー王に率いられたサウジアラビア政府は、1千万ドルの義援金を台風の被害を受けたフィリピンに与えたと報告されています。]